

PillCam™ 小腸カプセル内視鏡検査-患者さんへの説明 (センサベルト版)

患者名： _____

試験日： _____

PillCamカプセル小腸内視鏡検査を受けるにあたり、医師の指示に注意深く、そして完全に從ってください。

服用しているすべての処方薬について、医師にお知らせください。

また、アレルギーをお持ちの場合は、医師にお知らせください。

カプセル内視鏡検査の前日

1. 昼食後に処方された流動食を開始します。
2. カプセル内視鏡検査の10時間前から飲食しないでください。
医師から薬を飲むよう指示された場合は、一口程度の少量の水で飲むようにしてください。

カプセル内視鏡検査当日

1. 検査を受ける2時間前から薬を服用しないでください。
2. ゆったりとしたツープースの服を着てください。上着は透け感がない服にしてください。
3. 予定の時間にお越しください： _____

カプセル内視鏡を飲み込んだ後

❗ 処置中に腹痛、吐き気、嘔吐に苦しんでいる場合は、すぐに医師に連絡してください。

1. カプセル内視鏡を飲み込んだ2時間後から水分をとることができます。
2. カプセル内視鏡を飲み込んだ4時間後から軽食をとることができます。検査終了後は通常の食事をとることができます。
3. センサベルトが腰にしっかりと巻かれていることを確認しベルトに何もつけないでください。
4. 15分ごとに青色に点滅するデータレコーダのライトをチェックし、1秒に2回点滅していることを確認します。点滅が止まったり、色が変わったりした場合は、時間をメモして医師にご相談ください。
5. 2ページ目にある「カプセル内視鏡検査中 飲食・活動記録書」を使用して、飲食や活動の時間を記録します。必要事項を記入した活動記録書を機器返却時に医師に渡してください。
6. カプセル内視鏡を飲み込んだ後、体外に排出されるまでは、MRI装置やアマチュア無線などの強い電磁界は避けてください。
7. 検査中は、機器の接続を切ったり、データレコーダを完全に取り外したりしないでください。
8. データレコーダは丁寧に取り扱いってください。急な動きやデータレコーダを叩く等の刺激を与えないでください。
9. 強い直射日光にさらさないでください。

カプセル内視鏡検査終了後

予定された時間に病院に戻り、機器を取り外してください。

もしくは、カプセル内視鏡検査終了後にご自身で機器を取り外すように指示された場合は、次の手順を実行します。

1. 各粘着スリーブの取り外しタブを引っ張って、センサベルトを取り外します。
2. データレコーダを取り外し、機器を安全な場所に保管します。
3. できるだけ早くすべての機器を病院に返却してください。データレコーダやその他の機器は、衝撃、振動、直射日光にさらさないように慎重に取り扱ってください。

- ❗ カプセル内視鏡が体外に出たかどうか確信が持てず、原因不明の吐き気、腹痛、または嘔吐が発生した場合は、医師にすぐにご連絡ください。
- ❗ カプセル内視鏡が体内にある状態でMRIを受けると、腸管や腹腔が損傷する可能性があります。カプセル内視鏡が体外に出ているかどうか分からない場合は、MRI検査を受ける前に、腹部X線検査について医師に相談してください。

カプセル内視鏡検査中 飲食・活動記録書

患者名:		ID番号:
時間	イベント(食べる、飲む、活動する、異常な感覚)	
	PillCamカプセルを飲み込む	
次回の予約時間:	その他、医師からの特別な指示:	
緊急時の施設連絡先:		